

経営比較分析表（令和4年度決算）

山梨県甲府市 甲府病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	透未訓ガ	救臨感災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
186,393	28,066	非該当	非該当	7：1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
393	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	399
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
353	-	353

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

山梨県地域保健医療計画において、地域の中核病院として位置づけられる中で、
 * 二次救急医療機関
 * 小児二次救急医療機関
 * 地域周産期母子医療センター
 * 地域災害拠点病院 など
 地域住民が求める医療、地域に不足する医療を提供する基幹病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医療収支比率は、入院・外来患者1人1日当たり収益が改善傾向にあるため昨年に引き続き微増となり、類似病院平均値を上回る結果となった。
 費用では、材料費対医療収益比率は類似病院平均値を下回っているが、職員給与対医療収益比率は類似病院平均値を上回る傾向が続いており、費用の効率性を低下させる要因となっている。
 経常収支比率は、新型コロナウイルス感染症に係る補助金の受給により、昨年に引き続き類似病院平均値を上回った。
 累積欠損金比率は、昨年度に比べ下落したが未だ類似病院平均値を上回る状況は変わらず、引き続き非常に厳しい経営状況におかれている。

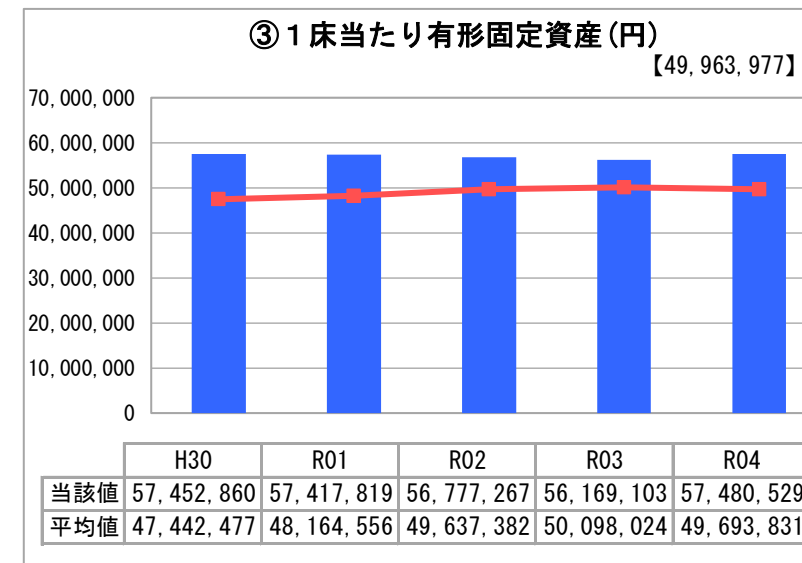
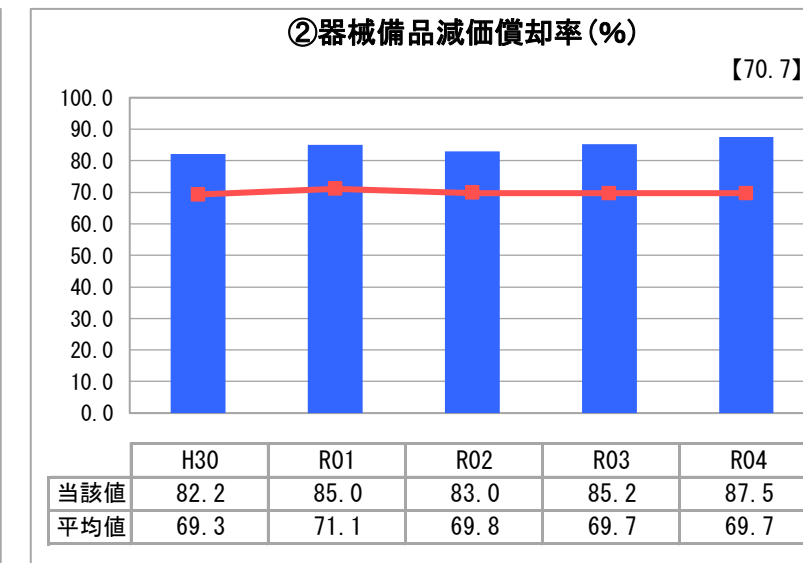
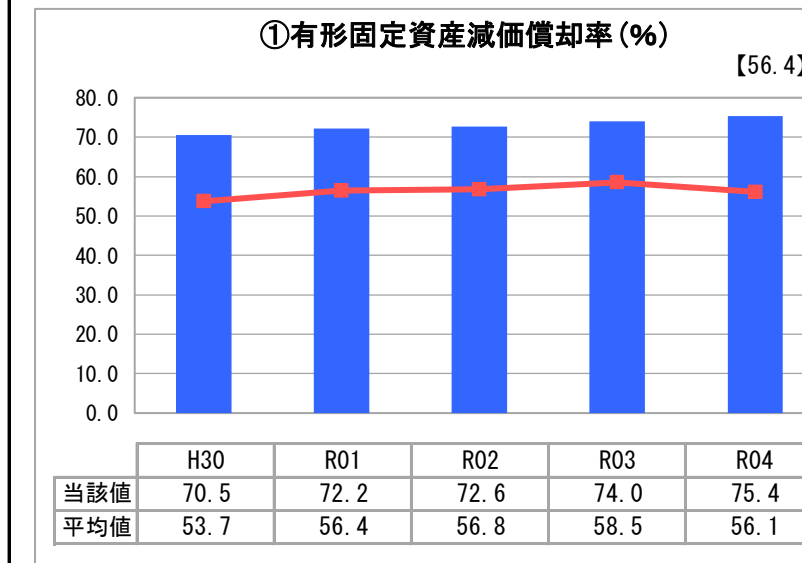
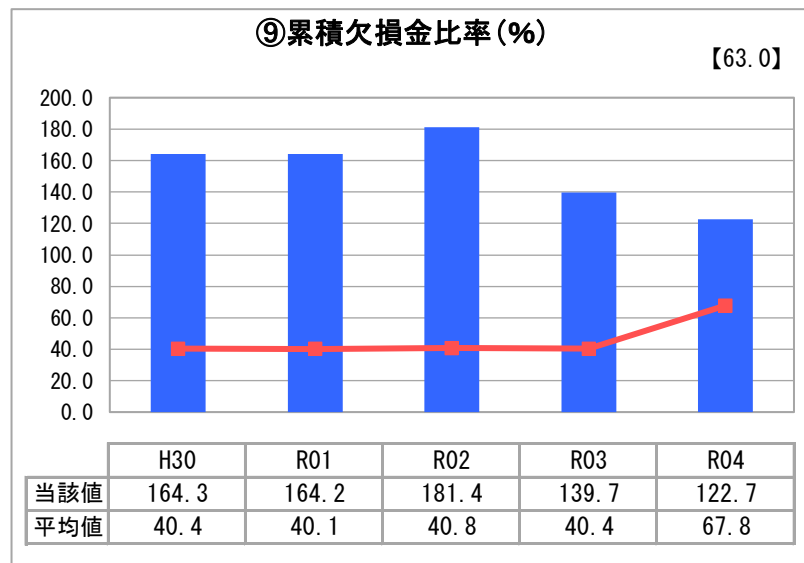
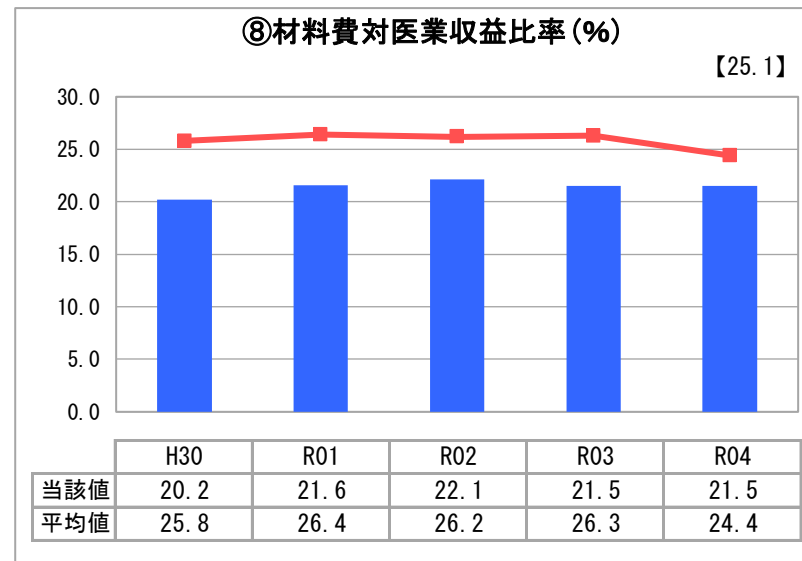
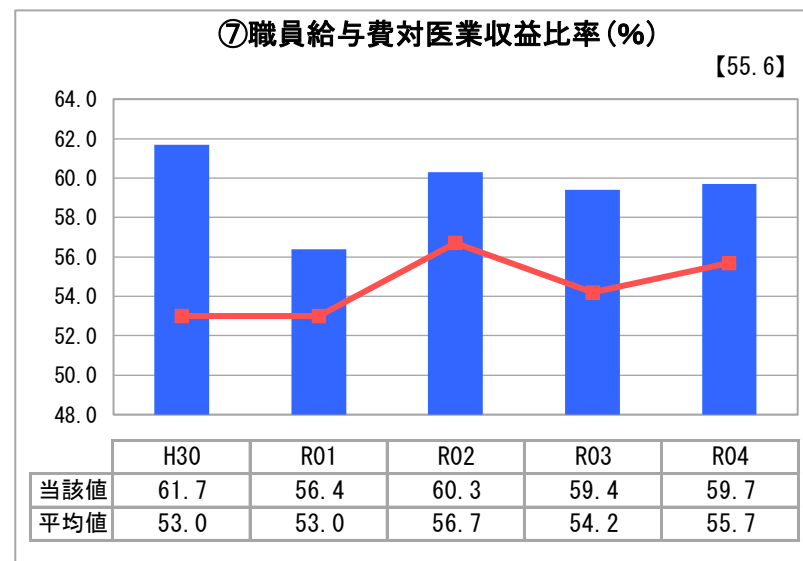
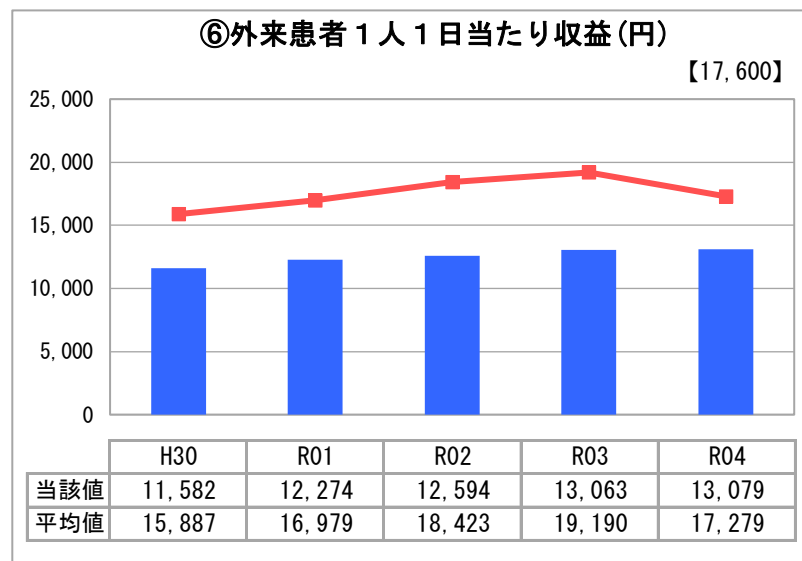
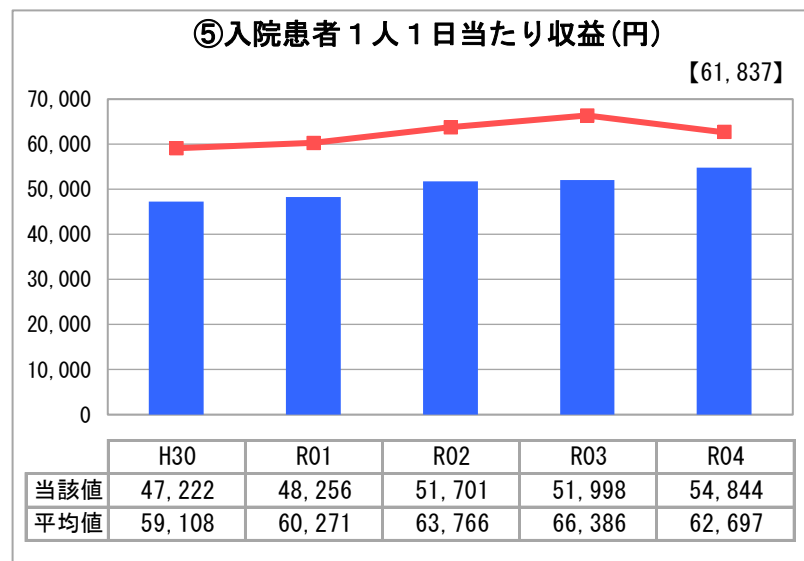
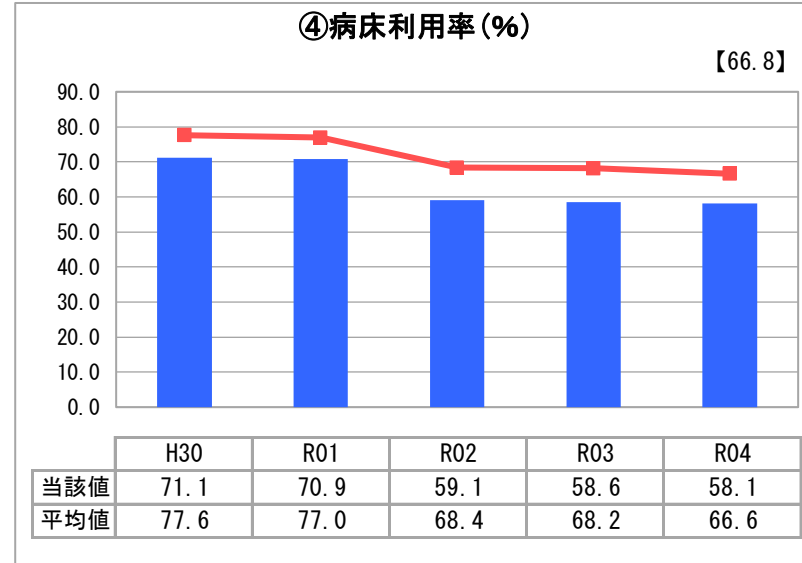
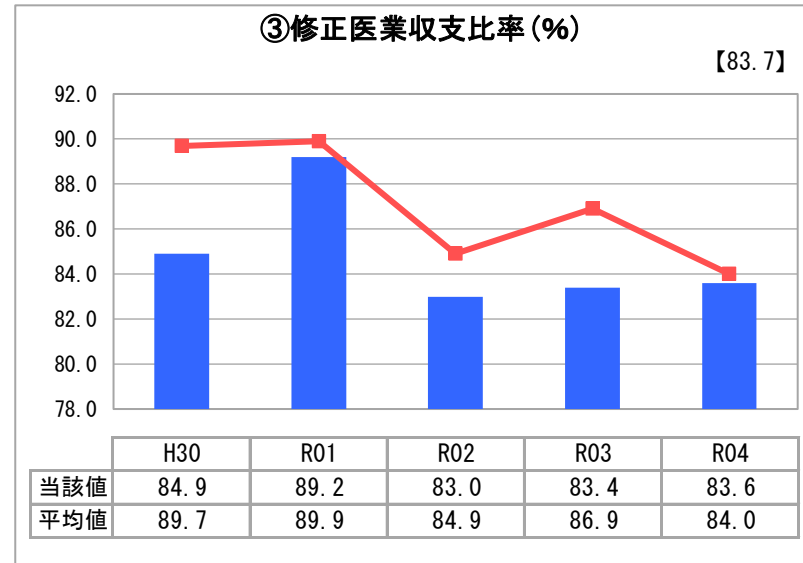
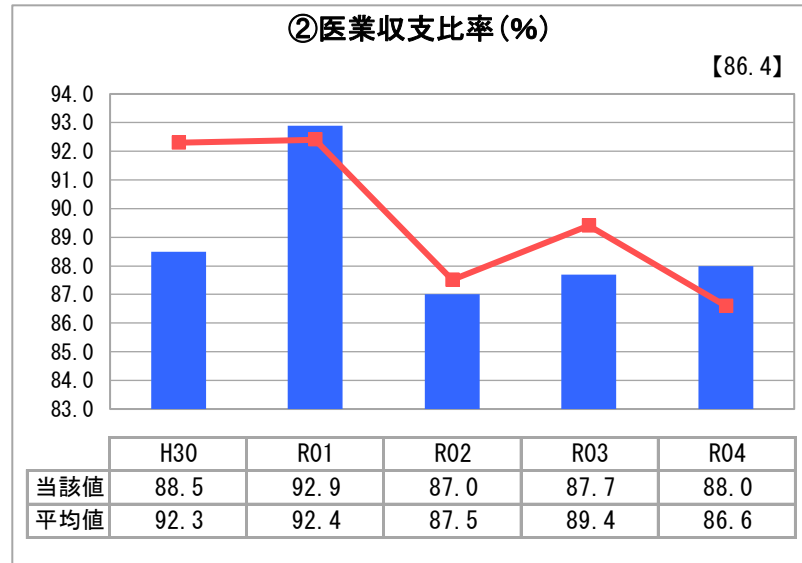
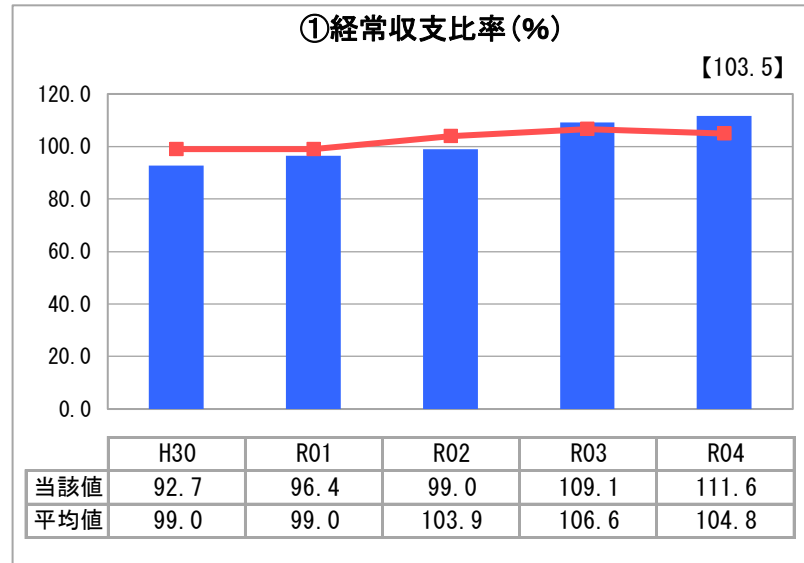
2. 老朽化の状況について

移転開院してから24年を経過し、有形固定資産減価償却率は年々増加している。類似病院との比較においても数値は高く、施設全体の老朽化が進んでいる。有形固定資産の中でも医療機械備品の減価償却率はより高くなっており、更新の時期を迎えている。また、1床当たりの有形固定資産は、類似病院平均を上回っており、減価償却費として収益的支出の増大につながっている。

全体総括

経常収支比率は、昨年に引き続き100%超となったが、有形固定資産減価償却率は依然として高い水準で推移している。施設の老朽化が進んでいるにも関わらず、その更新投資を経常収益では賄えない等、経営状況は非常に厳しい状況にある。
 自治体病院として、地域住民に良質な医療を安定的かつ継続的に提供するためにも、昨年度末に策定した「市立甲府病院経営強化プラン」に基づき、持続性のある経営基盤の確立に向けて収益確保と経費削減に取り組んでいく。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。